

# なびい通信

<12. 1月号> No.154 2016年12月1日  
発行責任者 伊藤 祐子

【住所】 〒186-0003  
国立市富士見台2-8-7  
ラフォーレ国立Ⅲ 101号  
地域活動支援センター なびい  
Tel (042) 571-3103  
Fax (042) 505-6763

## 年末によせて

「今日は暑いね」「今日は寒いね」と言い合っているうちに、気づけば今年のカレンダーも残りわずかとなりました。みなさまにとって、2016年はどんな一年でしたか？ 一つ一つの取り組みは小さなことでも、ふりかえてみると、確かな積み重ねとなっているのではないのでしょうか。なびいの小さな面接室で一人お一人と向かい合っていると、そう感じます。

今年7月に、忘れられない事件が起こりました。相模原市にある津久井やまゆり園で起きたこの事件は、今もわたしたちに何かを問い続けています。社会学者の上野千鶴子さんは、わたしたちの生きる超高齢社会とは、すべての人が生命の階段をゆっくりと降りていく社会であり、誰もが加齢によって少しずつ障害を負っていく社会だと言っています。誰もが「弱者」になっていく社会、それは、自分がこれまでとは違う立場に立つのだという、想像力をはたらかせやすい社会であるはずで

す。わたしたちは一人一人違います。違うけれど同じところもあります。そのどちらも大切にしながら「想像力をはたらかせ続ける」ということを、なびいという場所を通じて、誠実にやっていきたいと思っています。

今年もなびいはみなさまと一緒に味わい深い時間を過ごしてきました。11月6日(日)の市民祭は、今年もIのお手伝いでポップコーン屋さんを開きました。好調だった昨年を上回り、およそ400個も売り上げました。準備や当日の運営、後片付けまで多くのメンバーさんが関わり、当日も、たくさんの方が遊びに来てくれました。ご協力くださり、本当にありがとうございます。

また、これも恒例となりましたチャリティフリマですが、11月12日(土)富士見台商店街にて参加しました。これも、準備、売り子、手作り品提供、片づけまでメンバーさんにめいっぱい協力していただき、なんと24,860円売り上げることができました。全額、震災復興のための募金とする予定です。ありがとうございました。

寒さが一段と増してきますが、12月17日(土)には、これも恒例のクリスマス会を予定しています。みなさまと一緒に温かい午後を過ごせればと思います。どうぞ遊びに来てください。2016年も一緒になびいをつくっていただきありがとうございました。

どうぞ、よい年をお迎えください。

(文責・伊藤祐子)